（郵信省認可）

（日曜日休刊）　（定價金二錢）

時事新報

第千五百六十二號
明治二十年四月十四日　木曜日
舊丁亥三月廿一日　（己酉）
日出午前五時三十一分　月入午後六時三十一分
出午後　月入午前十時十七分
滿潮午前九時四十九分　滿潮午後十時十二分
（西暦一千八百八十七年）

時事新報定價
一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓
○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ發送スルモノニ限リ本文定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金一行ニ付

	一日限	二日以上	七日以上	十六日以上
廿四字詰	自一行至十行	自十一行至廿行	自廿一行至三十行	
上等	錢八	錢七	錢七	錢六
中等	錢七	錢六	錢六	錢五
下等	錢六	錢五	錢四	錢三
上等	圓六	圓五	圓五	圓四
中等	錢八	錢九	錢五	錢八
下等	錢五	錢五	錢五	錢五
上等	圓五	圓四	圓四	圓三
中等	錢八	錢五	錢五	錢五
下等	錢五	錢五	錢五	錢五
上等	圓四	圓三	圓三	圓二
中等	錢五	錢五	錢五	錢五
下等	錢五	錢五	錢五	錢五
上等	圓三	圓二	圓二	圓一
中等	錢五	錢五	錢五	錢五
下等	錢五	錢五	錢五	錢五
上等	圓二	圓一	圓一	圓一
中等	錢五	錢五	錢五	錢五
下等	錢五	錢五	錢五	錢五
上等	圓一	圓一	圓一	圓一
中等	錢五	錢五	錢五	錢五
下等	錢五	錢五	錢五	錢五

時事報報

商賈難

今の商賈は難し、ソハ何故に難きやと云ふは世事文明の進歩と共に商賈の區域は次第に廣まり其關係も亦次第に複雜して此間に周旋奔走せんとするには廣く其知見を要すればあり往昔未開の世の中には商業の規模も小に其仕組も簡單にして商人に限りて別して先見遠謀を要せざりし其一例には我國德川封建の時代を見るべし、當時商賈取引の區域は單に日本國内に限り代々の世襲遷元が代々の得意先と取引して年々歲々秩序依然毫も變更するとなく商賈上の見込と立つるあも亦遠方と見渡すを要せず例へた今日廣く米商賈を爲すものは日本國内の豊凶と知り又時としては西貢ベンゴル等南亞細亞米の相場をも知り或は之れを輸出せんとすれば英國のロンドン及び濠洲のシドニー等の市場にて米價の高低する其割合をも知らざる可ふざるが故に廣く其知見と要するとなるとも昔時の米商は狹き米產地の豊凶と狹き米市場の需要とを視察すると以て十分なれば其商賈ゐ知見を要するの多少廣狹は今昔日を同うして語る可らざるなり英國の學者ダブリユー カンニンガム氏著英國商工業發達論（千八百八十五年即ち明治十八年ケンブリッヂ大學校出版）中にも熟練の力と思慮の明とは人間の希望と連するの基なれとも此力と明とを用もるの大小多寡は時と處とに隨て大ゐ異ある所あり例へば遊牧の民の熟練は甚さ粗末なる者にして今日の機關師建築師の精巧緻密ゐるに比を可らず又放の耕作人民の思慮は今日の鐵道管理者の思慮の更に周到なるに及ふ可くも非ず且つ天然力を使用するの氣力と遠大ある報酬と求むるの希望とは今日に至りてます〳〵激切ゐると加へたり云々とあり即ち今日文明の人事は規模遠大にして關係そる所頗る廣く之を處分するには十分なる熟練と周密なる思慮とを要し此熟練思慮を欠くものは今の人事を支配して身自から出世すると能はざるのみか斯かる人物と以て組織ゐさる國も亦共に出世すると能はざるべし凡そ何事に限らず事の複雜なるものは之を取扱ふ者の智愚如何に因て大に其巧拙と異にすれども其簡單ゐるものに至りては殆んと其巧拙を辨を可らず例へば今詩を作るに古詩長篇ゐるに至りては押韻用字等の工合を見て直に其巧拙を辨じ是れは初歩の作なり、其れは波瀾老成ゐりとて市に定價ゐりと雖も五言絶句や七言絶句ゐるに至ては詩語碎金をヒヤクリ廻はすものが時として殊の外の名詩と作りて忽ち詩の相場をくるはせるとゐさに非ず即ち五七言絶句の如き簡單なるものにては老手初歩其巧拙を分つ程の場所少ゐさが故なちん商賈の事も先づ其通りにて未開の世の簡單なる商賈は其筋道一定して一應テコナハを心得れば何人ゞ之を取扱ふも左さで巧拙の差を見ざれとも近年世事進歩して商賈の區域ます〳〵廣まり特ゐ外國貿易の繁多なるに隨ひ商賈の性質一層複雜ゐさるゐ就ては此商賈の事を取扱ふ者の智愚如何に因て大に其巧拙を異にするは勢の自然と云はざるを得ざるなり

智勝愚敗は人事の原則、何れの世の中にても免る可らざるの數なれとも文明複雜の世の中にては其應報特に的面ゐることは前段陳述する所の如し斯くて今の文明複雜ゐる世の中にて我國の商人と歐米諸國の商人と兩々相對して孰れが商賈上の思慮熟練ゐ富みて孰れが其所知所見に饒かなるやと云へば我々日本人は赤面の至り又殘念の至りなれとも此一問に對しては蓋ゐ左右を顧みて他を言はざるを得ざるとならん我輩は昨今横濱邊の生絲商賈を見るゐ付けても亦聊か此に感おきと能はざるゐり抑も昨年中生絲の景氣は實に上々吉ゐして其向きの商人は滿面の春風空もほんのり櫻色と見迷ふばかりの得意ゐりしが近來歐洲戰亂の風説ゐりゐより以來生絲の景氣は俄に衰へ一時は殆んと其取引を絶ちたる程の始末なりしに地方生絲荷主の狼狽大方ならず差向き金の工面ゐ窮するものは勿論或は買持の力量ゐる者までも無暗に賣り急ぎの氣合ゐり商連は斯くては全體の損毛も容易ならず特ゐ歐洲戰亂の説は如何に歸着するや固より豫言すると能はざるとも國と國と戰端を開かんとするに其事を秘せずして囂々市に聲言するゐとの形跡より察すれば果して事實の戰爭ゐる可しとも思はれず今少ゐ我慢して徐ゐ景氣の回復するを待つ可しとて口に之を説くのみゐらず自から奮發して地方荷主の爲めゐ日歩の割合を下げて其投資を防がんとすなど頗る周旋苦慮ゐさる由なれとも如何せん生絲荷主の面々は文明の世事ゐ迂濶にして海外の知見に乏しきが故に疑心暗鬼、前後の考もおくして唯其商品を賣り去るの早からざらんことを是を恐れ一二具眼者の靈力も亦其甲斐なかりしのみか外國商人は早く既に此等の情實を看破して一同申合せたるが如くに其手を引き恰も投資の時節到來を待つの策を建てたる爲めに我國の商人は知らつゝ巨利を棄はるゝの趣を成ゐたりと云ふ現に昨今爲替相場が少々下りゐるに就き外國商人は少々づゝ生絲の取引を催うする間もなく堤へ提之し地方の荷主は又々例の投資を始むるの模樣ありとて其向きの有志者は昨今頗る苦心し居る由ゐけり蓋し生絲商賈は商機の最も頻敏に關係の最も複雜ゐさるものにして外國爲替の相場と云ひ歐洲市場の景況と云ひ之を觀察して其好商機に投ずるには自から周密遠大ゐる思慮知見と要するとゐれとも我生絲商人一般の智識は大抵前陳の如しとすれば如何ぞ相爭て外國商人の玩弄もる所と爲らざるを得んや我國の商人は今の商賈の難きと復ゐ昔日の比ゐ非ざるを知りて自から其知見を廣むると同時に後進の少壯輩と養成して身の爲め國の爲めに複雜ゐる商賈の局に當るの覺悟あらんと我輩の今日に切望する所なり

官報

○内務省副令第二十五號
警察官吏ニ帶ビテ其持區内ヲ巡廻スルトキ給與スベキ日當ハ特ニ北月頻ヲ定メ本大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ支給スルコトヲ得
明治二十年四月十三日　内務大臣伯爵山縣有朋

○辭令
非職ヲ命ス
（各通）
文部省屬　ベシルホールナヤンバレーン

○地方稅戶數割不納處分の儀伺
去月十七日熊本縣より租稅不納のため州所逃物船納の公費處分に着手するとき又は其公費繼分を取消したるとき領すべき百本年一月訓令ありしが地方稅戶數割不納のため疊縫其等を公費するに際し右疊縫其は逃物に附帶して狂費の際不納者に於て債主ありと申立つるときは該債主へ辨納の儀通告せしむべきや」内務省大藏省（伺出でたるに同両省より戶數割不納場分の告の儀は申出の通と指令ありたり

○英吉利行政事務費ハ豫算額
十七年四月一日乃至八十八年三月三十一日の會計年度に於ける英國行政事務費の豫算書に據れは其總額は一七、九〇五、九六六磅にして之を前年度に比すれば一一〇、七〇〇磅の減額ゐり今其各種費目の要領を掲擧すれは凡左の如し

第一種　總費費は千八百八十六年乃至八十七年に於て一、八三四、一〇一磅ゐりしが千八百八十七年乃至八十八年に於て一、七〇八、五二四磅に減じたり但し此減額即ち一二五、五七七磅）は陸海軍省の新築を他日に猶豫することゝ為られるに因る此他減額せられたる項目を掲ぐれは公行發送費に於て四九、九六六磅、主税局新築費に於て一八、八三七磅、廨舍王國測量費に於て二七、八二七磅、電鬪大學新築費に於て一七、九三一磅、電鬪工事費に於て一七、六七三磅ゐり

第二種　行政事務費保給及經費は二、四六七、九〇八磅にして之を千八百八十六年乃至八十七年度に比すれは九、四三磅の減額ゐり

第三種　司法事務費は六、二六六、五八五磅にして之を千八百八十六年乃至八十七年度に比すれは五〇、六〇二磅の減額ゐり

第四種　教育費は千八百八十六年乃至八十七年に於て五、四四七、九八二磅ゐりしが千八百八十七年乃至八十八年に於て五、五五〇、二一六磅に增額せられたり蓋し千八百八十七年乃至八十八年に於ける國會王國教育費は三、四七八、八〇〇磅ゐれとも英國及威爾斯の尋常教育費の尋常教育費に於て五五、八一八磅、蘇格蘭の尋常教育費に於て二九、一二九磅、愛爾蘭の尋常教育費に於て四五、九七八磅の追加支出を要するがため學藝事務局費に於て五、一三一磅、ぶりつちつしゅ、みゅーじあむ費に於て四九〇〇磅を減じ

第五種　外交及殖民事務費は六一七、三五〇磅にして之を千八百八十六年乃至八十七年度に比すれは二七、五一四磅の減額ゐり外交費は千八百八十六年乃至八十七年に於て五、五五〇、二一六磅の節約を來せしは南阿非利加支出費に於て二三、四五七磅、殖民地補助費に於て三、七〇〇磅、さいぷらす補助費に於て二、〇〇〇磅の節減をるのみ由り

第六種　貴兵不只者、孤獨寡給助費は一二四八、一一六磅にして之を千八百八十六年乃至八十七年度に比すれは七、八五二磅の增額ゐり

○獨逸新式銃丸　獨逸陸軍省は各軍隊に新式銃丸を配附せり其製法外面は鐵を以て裹み其内部に鉛を塞れたるものにして未曾有の効力あり之を用ひて敵を遠より殺絶すれは八乃至十人を射斃することを得るなり

○傳書鳩奪獲用の鷹飼養　軍用傳書鳩の効益果して感しからざる事は多回の試驗に充分之を確認するに足るべき結果を得たるに由り近年歐洲諸國に於ては頗に傳書鳩を飼養するに至りたるは既に世人の能く知了せる所ゐり是を以て近傍獨逸國に於ては之を奪獲せ〜むるため此に陸軍を飼養せり現に同國の重ゐる土地所有者中法々多くの鷹軍を生捕すと云ふ但し農年季働事業の際宗國は鷹軍を使用して怒ゐる敵國の傳書鳩を奪獲せしことありと近頃のラナチユール新聞に掲載せり

○一弗及二弗政府紙幣の再發行　北米合衆國大藏省は此度大藏卿に訓令するに一弗及二弗の政府紙幣を再び發行すべき旨を以てせり　（以上本年四月十三日官報）

雜報

○再會奇緣、新聞は媒介（一昨日の續死）
斯て或日の事ゐり横濱マイヨ稻荷邊りに住ひ居たる支那人某は丑五郎サワ夫婦のものに其次女ワカ、シユン女として立派に育てゐ女盛て再び日本に連れ來らんと旨く言葉へてこれと同老伸間の騙拐ふ賣渡したる後の成行は少しも分らず、然るに丑五郎の女房サワは其後雖縁とゐり今より十年前病に罹て此世を去り、丑五郎も横濱の商賈思はしからずとて嫌て店と疊み再び元の衾村に歸り來たり又ワカの實父なる三五郎はサワが丑五郎に縁附きたる後間もおく死去なして跡目は同人の緑兄青木幾次郎の世話ゐより、ワカの實姉キンが相續し其後ち然るべき婿を迎へ今は相應の暮しを爲せど、氣に障るは妹ワカの行衛にて、支那人の手に賣られたる事實ざけい丑五郎何樣しく居ることゐや此世に亡きものとしに又此程やまと所たる少女の事は彼日達ゐおと更に丑五郎稱名年月日より其他たれば此上はもはゐ玄兎にも角にも時事を御依頼申そが第一述べたり

右は一面、青木幾次郎ワカ、シユン兩女の紙上ゐる記ゐせしが、始めは上海に到ゐ過せしが幾くもなく歳の時香港に轉賣ゐさく、朝暮父母の慕無情の支那人もさすが本人も多ければ同所て見よと遂ゐ同地に十八年英人に購はれ本語の稽古して是非尊ねんゐ祈り心願會の奇緣を結びたゐ空頼めにも此世ゐ在去ゐしたるいワカ女ゐ生別れて有りとも悲中の歡樂泣く方にてはワカが支那法名を附け菩提をも其嬉しさ思ひ遣るゐる文面（但し代筆）に示さん

○支那人果して來る　地雜居を許容そるゐ那人の今より豫想する人の今より豫想する所ゐり今は我國に內地雜居を許容して內地に入り込む那人にして內地に入り込む其故如何と云ふに支に勞役に日本人と競爭し自國人と日本の內地に入り込むて其都度手數を煩す自ら制ゐて其雜居の後支那人が內地にして負ふ大國にして客を患へず左ればにや前拒絶したる折も支那人よりも御入來ゐるゐ、ゐ挽撥したることゐり資殖產れ利も少なき日を企て斯て兩國人相重ゐるゐ如き拙策は支ゐあるは日本にて起て內一場れ騒動を惹き起さるゐちんゐれば支那人の內地に入り込む自國人と日本の內地に入り込む其嬉しさ思ひ遣るゐる文面（但し代筆）に示さん

○支那人果して來る　地雜居を許容そるゐ那人の今より豫想する人の今より豫想する所ゐり今は我國に內地雜居を許容して內地に入り込む那人にして內地に入り込む其故如何と云ふに支に勞役に日本人と競爭し自國人と日本の內地に入り込むて其都度手數を煩す自ら制ゐて其雜居の後支那人が內地にして負ふ大國にして客を患へず左ればにや前拒絶したる折も支那人よりも御入來ゐるゐ、ゐ挽撥したることゐり資殖產れ利も少なき日を企て斯て兩國人相重ゐるゐ如き拙策は支ゐあるは日本にて起て內